

## 甘利 俊一 (正会員)

理化学研究所脳科学総合研究センター脳情報システムグループディレクター。東京大学・工・博士課程修了(数理工学)。九州大学助教授、東京大学助教授・教授を経て、現在名誉教授。数理工学、特に情報幾何、脳情報処理を研究。E-mail:amari@brain.riken.go.jp  
http://www.bsis.brain.riken.go.jp

## 安東 孝二 (正会員)

1968年生。1991年東京大学工学部原子力工学科卒業。1996年同大学院博士課程中退。東京大学教育用計算機センター助手を経て、1999年より同情報基盤センター助手。大規模計算機システムに興味を持つ。

## 石川 博 (正会員)

1956年生。1979年東京大学理学部情報科学科卒業。同年(株)富士通研究所入社。以来データベースの研究開発に従事。2000年東京都立大学工学研究科電気工学専攻教授(情報工学)。1992年東京大学理学博士号取得。著書「Object-Oriented Database System (Springer Verlag, 1993)など。1994年本会坂井記念特別賞受賞。1997年科学技術庁長官賞研究功績者顕彰。本会学会誌編集委員会SWG主査、本会データベースシステム研究会幹事各歴任。本会論文誌(データベース)編集委員。International Journal Very Large Data Bases Editorial Board。群馬大学工学部非常勤講師。電子情報通信学会、ACM、IEEE各会員。

## 石川 裕 (正会員)

1987年慶應義塾大学大学院理工学研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年電子技術総合研究所入所。1993年より技術研究組合新情報処理開発機構に出向中。並列分散システムソフトウェアつくば研究室室長。1999年よりシステムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会主査。

## 内田 俊一 (正会員)

1975年慶應義塾大学工学部博士課程修了。工学博士。同年電子技術総合研究所入所。1982年(財)新世代コンピュータ技術開発機構(ICOT)研究所へ出向。並列推論マシンの研究開発などに従事。1993年ICOT研究所長。1995年より(財)日本情報処理開発協会先端情報技術研究所所長。

## 頼原桂二郎

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士課程在学。2000年9月慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大村井純研究室に所属し、ネットワークの運用に携わりながら、トラフィック制御技術などを研究する。また、WIDEプロジェクトメンバとして同分野および品質保証型経路制御技術について研究している。

## 太田 昌孝 (正会員)

昭和34年生。昭和62年東京工業大学総合情報処理センター助手。博士(理学)。コンピュータグラフィクス、UNIX、計算の高速化、文字コード、DNS、マルチキャスト、QoS保証、超高速ルーティングなどの研究に従事。

## 大淵竜太郎 (正会員)

山梨大学工学部コンピュータ・メディア工学科助教授。メディアデータ型としての3次元モデルの圧縮、電子透かし、編集、拡張現実表示などに興味を持つ。ACM、IEEE、日本ソフトウェア学会各会員。

## 岡村 英明 (正会員)

1995年慶應義塾大学大学院理工学研究科計算機科学専攻博士課程修了。(株)ソニーコンピュータサイエンス研究所(CSL)に入社後ソニー(株)に出向、オブジェクト指向OS Aperiosの製品組み込み作業に従事。イリノイ大学訪問研究員を経て、現在CSLにて適応型分散システムを研究中。

## 岡本 栄司 (正会員)

昭和48年東京工業大学工学部電子工学科卒業。昭和53年同大学院電子工学専攻博士課程修了。工学博士。同年日本電気(株)中央研究所入社。平成3年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科教授。平成11年よりウィスコンシン大学暗号セキュリティセンター兼東邦大学理学部教授。グラフ理論、通信理論、数理計画、アルゴリズム、情報セキュリティをはじめとする情報数理システムの教育・研究に従事。平成2年電子情報通信学会論文賞、平成5年本会Best Author賞各受賞。著書「暗号理論入門」「電子マネー」など。IEEEシニア会員。ACM、IACR(International Association for Cryptologic Research)、電子情報通信学会、情報理論とその応用学会、応用数学会、日本セキュリティ・マネジメント学会各会員。

## 小川 晃通

慶應義塾大学政策・メディア研究科博士後期課程在学。1998年慶應義塾大学環境情報学部、2000年同大政策・メディア研究科博士前期課程修了。同年より現所属。リアルタイムマルチメディア通信、トラフィック制御などの研究を行う。また、WIDEプロジェクトのメンバとして同研究に従事する。

## 奥乃 博 (正会員)

1972年東京大学教養学部基礎科学科卒業。日本電信電話公社、NTTを経て、1998年科学技術振興事業団ERATO北野共生システムプロジェクトに退職参加。1999年東京理科大学理工学部情報科学科教授。博士(工学)。この間、スタンフォード大学客員研究員、東京大学工学部客員助教授。音環境理解、ヒューマノイド聴覚の研究などに従事。本会英文図書出版委員。著編書「インターネット活用術」(岩波書店、1996)、「Computational Auditory Scene Analysis」(共編、LEA、1998)など。

## 加藤 和彦 (正会員)

筑波大学電子・情報工学系助教授。オペレーティングシステム、プログラミング言語システム、データベースシステム、モバイルオブジェクト・コンピューティング、セキュア・コンピューティング等に興味を持つ。

## 金井 崇 (正会員)

慶應義塾大学環境情報学部専任講師。工学博士。コンピュータグラフィクス、形状モデリング、CAD/CAMなどの研究に従事。ACM、IEEE CS、精密工学会各会員。  
E-mail:kanai@sfc.keio.ac.jp  
http://www.sfc.keio.ac.jp/~kanai/

## 木下 耕太

(株)NTTドコモ取締役研究開発本部副部長。第一世代から第三世代移動通信に渡り、主にマルチプルアクセス方式の研究・実用化、および導入に向けた標準化などの活動に従事。IEEE会員。

## 越塚 登 (正会員)

1966年東京生。1994年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。博士

(理学)。現在、東京大学情報基盤センター助教授。トロンプロジェクトに参画。オペレーティングシステム、ユーザインタフェースソフトウェア、デジタルミュージアム等を研究する。

## 穴戸 周夫

1948年生。1971年上智大学法学部卒業。同年日刊工業新聞社入社。出版局編集長、編集局編集委員。1997年よりフリーランス・ジャーナリスト、テラメディア代表。著書「マイクログソフトの真実」、「データウェアハウス」、「エンタープライズ・コンピューティング」等。

## 鈴木 宏正 (正会員)

1986年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。工学博士。1987年同大助手、1988年講師、1989年助教授。現在に至る。この間、機械設計CADのための製品情報モデリングや形状モデリングに関する研究に従事。2000年より(株)エリジオン取締役を兼業。精密工学会、ACM、IEEEなど各会員。  
E-mail:suzuki@cim.pe.u-tokyo.ac.jp  
http://www.cim.pe.u-tokyo.ac.jp/~suzuki/

## 妹尾 稔

名古屋商科大学経営情報学科教授。情報システム。著書「情報化戦略あなたが主役」、「SE育成読本」。経営情報学会、品質管理学会、プロジェクト管理学会各会員。  
E-mail:mini@nucba.ac.jp

## 染川 隆司

奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科に在籍。IPv6やQoS計測技術の研究を主にしている。また、WIDE Projectが運用する大規模な実験ネットワークの運用にも携わっている。

## 田中 哲朗 (正会員)

1965年生。1987年東京大学工学部計数工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。博士(工学)。東京大学工学部助手、同教育用計算機センター助教授を経て、1999年より同情報基盤センター助教授。記号処理言語、漢字フォント、ゲームプログラミングに興味を持つ。ACM、日本ソフトウェア学会各会員。

## 徳田 英幸 (正会員)

1975年慶應義塾大学工学部卒業。1977年同大学院工学研究科修士課程修了。1983年カナダ国ウォータールー大学計算機科学科博士課程修了(Ph.D.in Computer Science)。この間、KOCOS、Shoshin、ARTS、Real-Time Machなどの分散リアルタイムOSの研究開発に従事。主な研究分野は、分散リアルタイムシステム、OS、ネットワーク、モバイルシステム、仮想情報家電など。

## 野地 俊毅

新日本空調(株)常務取締役・管理部門担当。共著「SEの知恵袋」(共立出版)。  
E-mail:nojiti@snk.co.jp

## 平澤 茂樹 (正会員)

1988年東京理科大学理学研究科物理学専攻修士課程修了。同年(株)日立製作所入社。システム開発研究所勤務。以来、大規模分散システム、データ放送システムの研究開発に従事。最近はBSデジタル放送の双方向センタの開発・運営に注力。現在、システム開発研究所第5部主任研究員。  
E-mail:hirasawa@sdl.hitachi.co.jp

# 賛助会員入会のおすすめ

本学会では日々発展し続ける情報メディア分野の先駆者として、会員の方々を中心に、学界・官界および産業界のご支援を得て、調査研究、論文発表、国際会議開催などの活動を続けております。

お近くに、入会をご希望の方および企業・団体がおられましたらご紹介ください。

資格：本会の目的に賛同される方または団体

会費：1口 50,000円/年間 \*何口でも加入可

特典：

1. 口数に応じて会誌「情報処理」の配布数、研究会登録の優遇制度があります。
2. 全国大会、研究発表会、セミナー、シンポジウムなどに正会員に準じて会員優待で参加できます。
3. 本学会編集図書が会員特価で購入できます。
4. 賛助会員名簿の無料配布、賛助会員名の会誌掲載、ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 公開。
5. 会誌「情報処理」(約30,000部/月) 会告に人材募集記事が掲載できます。

申込み、詳しい内容など詳細につきましては下記にご連絡ください。

照会先 情報処理学会 会員担当

## 賛助会員名簿

### 【A～Z】

(株) CIJ  
(株) CSK  
(株) FFC  
FJB Webテクノロジー (株)  
HOYA (株) デザインセンター  
JRCエンジニアリング (株)  
(株) KDD研究所  
(株) NEC情報システムズ  
NECソフト (株)  
NEC東芝情報システム (株)  
NECフィールドインテック (株)  
NTT横須賀研究開発センター  
サイバーコミュニケーション総合研究所  
NTTコミュニケーション科学研究所  
NTTコミュニケーションウェア (株)  
NTTコミュニケーションウェア (株)  
中国支社  
NTTシスコム (株)  
NTTソフトウェア (株)  
(株) NTTデータ 関西支社  
(株) NTTデータ 技術開発本部  
(株) NTTデータ 九州支社  
(株) NTTデータ 四国支社  
(株) NTTデータ 中国支社  
(株) NTTデータ 東海支社  
(株) NTTデータ 東北支社  
NTTデータ東北テクシス (株)  
(株) NTTドコモ  
(株) PFU  
(株) SRA

### 【あ 行】

(株) アーク情報システム  
アートシステム (株)

アイアンドエルソフトウェア (株)  
(株) アイヴィス  
(株) アイ・エス・ピー  
(株) アイ・エヌ情報センター  
(株) アイシーエス  
愛知県警察本部  
愛知女子短期大学  
アイ・ティー・エンジニアリング (株)  
(株) アイネス  
アイホン (株)  
(株) 旭リサーチセンター  
(株) アスキー  
アストロデザイン (株)  
アドバンスト・アプリケーション (株)  
(株) アドバンテスト  
(株) アルゴ21  
(株) アルファシステムズ  
安藤電気 (株) 浜北事業場  
アンリツ (株)  
池上通信機 (株) 研究開発本部  
伊藤忠テクノサイエンス (株)  
岩崎通信機 (株)  
インターナショナル・システム・サービス (株)  
(株) インタフェース  
(株) インテック  
インテル (株)  
ウェルファイド (株) 創薬研究所  
(株) エイ・ティ・アール音言語通信研究所  
(株) エイ・ティ・アール知能映像通信研究所  
(株) エスイーシー  
(株) エヌ・ケー・エクサ  
(株) エヌジェーケー  
エヌ・ティ・ティ・データ・クリエイション (株)  
エヌ・ティ・ティ・データ・テクノロジー (株)  
エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ (株)  
エヌ・ディ・アール (株)  
(株) エム・アール・システム研究所

エムエス情報システム (株)  
オークマ (株)  
大倉電気 (株) 和光技術センター  
大阪ガス (株)  
(株) 大塚商会  
(株) オオバ  
(株) オーム社  
(株) オートメーション・テクノロジー  
岡山日本電気ソフトウェア (株)  
沖ソフトウェア (株) 中国支社  
沖ソフトウェア (株) 中部支社  
沖ソフトウェア (株) 北陸支社  
沖通信システム (株)  
沖電気工業 (株)  
(株) 小野仁  
オムロン (株) 京都研究所  
オムロンソフトウェア (株)  
オムロンソフトウェア (株) 大阪事業所  
オリンパスシステムズ (株)

### 【か 行】

(株) 開発計算センター  
科学技術振興事業団科学技術情報事業本部  
カスタム・テクノロジー (株)  
(財) 画像情報教育振興協会  
(学) 片柳学園 日本工学院専門学校  
(学) 片柳学園 日本工学院八王子専門学校  
カテナ (株)  
兼松エレクトロニクス (株) 開発本部  
関西電力 (株)  
関西電力 (株) 総合技術研究所  
関電情報システム (株)  
(財) 機械振興協会  
キヤノン (株) 小杉事業所情報メディア研究所  
キヤノン (株) 中央研究所  
キヤノンソフトウェア (株)  
(財) 九州システム情報技術研究所

九州電力(株)  
京セラ(株)総合研究所  
(株)京セラディーアイ未来通信研究所  
共立出版(株)  
(株)近畿コンピュータコンサルタント  
近畿通信建設(株)  
近畿日本鉄道(株)  
近畿日本ツーリスト(株)  
原電情報システム(株)  
(株)コア中四国カンパニー  
興銀システム開発(株)  
(株)構造計画研究所  
(株)高知電子計算センター  
神戸日本電気ソフトウェア(株)  
(株)国際電気通信基礎技術研究所  
国士舘大学 情報科学センター  
国立国会図書館  
(株)コムテック2000  
コムベックス(株)  
(株)コンピューターグラフィックス  
(株)コンピューターマネジメント

### 【さ 行】

(株)サイエンスハウス  
(株)サイエンティア  
サクシード(株)  
(株)さくら総合研究所  
札幌総合情報センター(株)  
三協印刷(株)  
(株)三協精機製作所  
産業図書(株)  
サンデンシステムエンジニアリング(株)  
三美印刷(株)  
サン・マイクロシステムズ(株)  
三洋電機(株)  
三洋電機(株)研究開発本部  
(株)三和銀行  
三和システム開発(株)  
(株)シーイーシー  
(株)シーエーシー  
(株)シーティーアイ  
(株)ジェイアールシステム・エンジニアリング  
(株)ジェイアール東日本情報システム  
(株)ジェーエムエーシステムズ  
(株)四国総合研究所 電子技術研究所  
四国電力(株)  
四国日本電気ソフトウェア(株)  
システム・エンジニアリング・サービス(株)  
システム・オートメーション(株)  
(株)システム・ラボ  
シチズン時計(株)  
(株)島津製作所  
シャープ(株)技術本部  
シャープ(株)通信システム事業本部  
(株)次世代情報放送システム研究所  
(株)ジャステック  
(株)ジャストシステム  
(株)ジャパンテクニカルソフトウェア  
(財)情報科学国際交流財団  
(株)情報技術コンソーシアム  
(社)情報サービス産業協会  
情報処理振興事業協会 技術センター  
(財)情報処理相互運用技術協会

(株)しんきん情報システムセンター  
新日鉄情報通信システム(株)  
(株)数理計画  
住商情報システム(株)  
住友電気工業(株)大阪製作所  
セイコーインスツルメンツ(株)  
(株)西武洋紙店  
積水化学工業(株)  
セコム(株)IS研究所  
(株)セゾン情報システムズ  
セントラル・コンピュータ・サービス(株)  
(株)全農情報サービス  
桑園学園札幌ソフトウェア専門学校  
ソニー・テクトロニクス(株)  
(株)ソフトウェア  
(株)ソフトウェアコントロール  
(財)ソフトウェア情報センター  
ソフトウェア特許情報センター  
ソフトウェア生産技術研究所(株)  
(財)ソフトピアジャパン

### 【た 行】

拓殖大学  
(株)竹中工務店  
立山合金工業(株)  
ダイナミックシステム(株)  
大和ハウス工業(株)  
(株)田村電機製作所  
(株)中央コンピュータシステム  
中央コンピュータシステム(株)  
中国情報システムサービス(株)  
中国電力(株)  
中国日本電気ソフトウェア(株)  
中電技術コンサルタント(株)  
中電コンピュータサービス(株)  
中部ソフト・エンジニアリング(株)  
中部電力(株)  
中部日本電気ソフトウェア(株)  
通研電気工業(株)  
都築通信技術(株)  
(株)ティーゼー情報ネットワーク  
ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング(株)  
帝人(株)  
(財)データベース振興センター  
鉄道情報システム(株)  
(財)鉄道総合技術研究所  
テロテック(株)  
(株)デュオシステムズ  
(株)電産  
(株)電盛社  
(株)デンソークリエイト  
(財)電力中央研究所 情報研究所  
東海ソフト(株)  
東海旅客鉄道(株)  
(株)東京システム技研  
東京電力(株)  
東光(株)  
東光精機(株)  
東芝アドバンスドシステム(株)  
東芝エンジニアリング(株)  
東芝システムテクノロジー(株)  
(株)東芝 デジタルメディア機器社 青梅工場

(株)東芝 中部支社  
(株)東芝 那須工場  
東芝情報システム(株)  
東芝テック(株)  
東芝プロセスソフトウェア(株)  
東芝マイクロエレクトロニクス(株)  
東電コンピュータサービス(株)  
東電ソフトウェア(株)  
(学)東都学園東都コンピュータ専門学校  
東北電力(株)  
東北電力(株)研究開発センター  
東北日本電気ソフトウェア(株)  
東北リコー(株)  
東洋通信機(株)中央研究所  
(株)東和システム  
(株)トーエネック FS研究所  
(株)トキメック  
トッパン・フォームズ(株)  
凸版印刷(株)総合研究所  
(株)トヨコムシステムズ  
トヨタ自動車(株)  
(株)トヨタソフトエンジニアリング  
(株)豊田中央研究所

### 【な 行】

名古屋学院大学  
(株)ナブラ  
(株)ニコン  
(株)ニコンシステム  
日揮情報システム(株)  
日産デジタルプロセス(株)  
日商エレクトロニクス(株)  
ニッセイ情報テクノロジー(株)  
日通工(株)  
日鉄日立システムエンジニアリング(株)  
日本アルゴリズム(株)  
日本鋼管(株)  
エンジニアリング技術総括部  
日本コムシス(株)  
日本システム開発(株)  
日本システム技術(株)  
(株)日本システムディベロップメント  
日本事務器(株)  
(株)日本情報システムサービス  
(株)ニッポンダイナミックシステムズ  
日本テレコム(株)  
日本電気(株)  
日本電気(株)  
技術企画部三田技術情報センター  
日本電気移動通信(株)開発統括部  
日本電気コンピュータシステム(株)  
日本電気電力エンジニアリング(株)  
(株)日本電気特許技術情報センター  
日本電子開発(株)  
日本放送協会  
日本放送協会 放送技術研究所  
日本ラッド(株)  
日本SGI(株)  
日本アイ・ピー・エム(株)  
日本アイ・ピー・エム(株)広島営業部  
日本インターシステムズ(株)  
(株)日本科学技術研修所  
日本銀行

(株) 日本経済新聞社  
日本原子力研究所  
日本航空電子工業 (株)  
(株) 日本交通公社  
(財) 日本情報処理開発協会  
中央情報教育研究所  
日本情報通信コンサルティング (株)  
日本信号 (株) 与野事業所  
日本制御 (株)  
(株) 日本総合研究所  
日本タイムシェア (株)  
日本データパシフィック (株)  
日本テクトロン (株)  
(社) 日本電子機械工業会  
日本電子計算 (株)  
日本電子計算機 (株)  
(社) 日本電子工業振興協会  
日本電信電話 (株)  
(株) 日本トラフィックコンピュータセンター  
日本ビクター (株)  
日本ビジネスシステムズ (株)  
日本ヒューレット・パッカード (株)  
日本ヒューレット・パッカード (株)  
ヒューレット・パッカード研究所  
日本無線 (株)  
日本ユニシス (株)  
日本ユニシス (株) 関西支社  
日本ユニシス・ソフトウェア (株)  
(株) 日本旅行 法人公務営業本部  
(株) ニューメディア総研  
ネクストコム (株)  
農林中央金庫  
(株) ノス  
(株) 野村総合研究所

## 【は 行】

萩原電気 (株)  
バイオニア (株)  
バイオニア (株) 総合研究所  
浜松ライフラインリサーチセンター  
(株) ピアソン・エデュケーション  
(株) ピーコンインフォメーションテクノロジー  
ピーコンシステム (株)  
(株) 東日本放送  
(株) ピクセラ  
日立アイ・エヌ・エスソフトウェア (株)  
日立エンジニアリング (株)  
日立公共システムエンジニアリング (株)  
(株) 日立サイエンスシステムズ  
(株) 日立システムアンドサービス  
(株) 日立情報システムズ  
(株) 日立情報制御システム  
(株) 日立情報ネットワーク  
(株) 日立製作所 公共システム事業部  
(株) 日立製作所 システム開発研究所  
(株) 日立製作所 情報・通信グループ  
統括本部

(株) 日立製作所 ビジネスソリューション  
開発本部  
(株) 日立製作所 中国支社  
(株) 日立製作所 東北支社  
日立ソフトウェアエンジニアリング (株)  
日立中国ソフトウェア (株)  
日立電子 (株)  
日立電子テクノシステム (株)  
日立東北ソフトウェア (株)  
(株) 日立ビジネス機器  
(株) 日立マイクロソフトウェアシステムズ  
ファイナル・ネットワーク・  
テクノロジー (株)  
(株) フォーカスシステムズ  
福岡大学 総合研究所  
(株) フジキカイ 名古屋工場  
富士通 (株)  
(株) 富士通愛媛情報システムズ  
富士通エフ・アイ・ピー (株)  
富士通関西中部ネットテック (株)  
(株) 富士通九州システムエンジニアリング  
(株) 富士通高知システムエンジニアリング  
富士通コミュニケーション・システムズ (株)  
(株) 富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ  
(株) 富士通ソーシアルシステム  
エンジニアリング  
(株) 富士通中国システムズ  
(株) 富士通中部システムズ  
(株) 富士通北陸システムズ  
(株) 富士通テクノシステム  
富士通テン (株)  
富士通電装 (株)  
(株) 富士通東北システムエンジニアリング  
(株) 富士通徳島システムエンジニアリング  
フジテック (株)  
富士電機システムクリエイト (株)  
船井電機 (株)  
古野電気 (株)  
ブラザー工業 (株)  
(株) ブリッジ  
(有) プロアシスト  
(株) 平和情報センター  
(株) ベスト・テクノロジー  
北陸電力 (株)  
北陸日本電気ソフトウェア (株)  
(株) 北海道ジェイ・アール・システム開発  
北海道ソフト・エンジニアリング (株)  
(財) 堀情報科学振興財団  
(株) 堀場製作所

## 【ま 行】

マイクロソフト (株) 研究開発本部  
松下技研 (株)  
松下寿電子工業 (株) 総合技術開発センター  
松下システムエンジニアリング (株)  
松下システムエンジニアリング (株)  
札幌支社

松下情報システム (株)  
松下通信工業 (株)  
松下電器産業 (株) (大阪)  
松下電器産業 (株) (東京)  
松下電器産業 (株) AVC 商品開発研究所  
(株) 松下電器情報システム名古屋研究所  
(株) 松下電器情報システム広島研究所  
松下電子工業 (株) 半導体社  
松下電送システム (株)  
マツダ (株)  
(株) 三城  
三井情報開発 (株)  
三井造船システム技研 (株)  
三菱重工業 (株) 技術本部  
三菱スペース・ソフトウェア (株)  
三菱地所 (株)  
三菱電機 (株)  
三菱電機コントロールソフトウェア (株)  
三菱電機システムウェア (株)  
三菱電機メカトロニクスソフトウェア (株)  
三菱プレジジョン (株)  
三菱マテリアル (株) 総合研究所  
宮城日本電気 (株)  
ミリオン (株)  
武蔵野美術大学  
(株) メッセ21  
森長電子 (株)

## 【や 行】

(株) 安川電機  
安田工業 (株)  
ヤマハ (株)  
郵政省郵政研究所  
(株) 横河技術情報  
横河テクノシステム (株)  
横河電機 (株)

## 【ら・わ 行】

(株) 菱化システム  
菱友計算 (株) 中部支社  
(株) ワイ・デイ・シー

以上421社 (平成12年9月28日現在)

## 平成12年度入会予定

日本インターネット協会  
富士通西日本コミュニケーション・  
システムズ (株)

以上2社

# (社) 情報処理学会 正会員新規入会の特別キャンペーン!

社団法人 情報処理学会は今年創立40周年を迎えます。21世紀に向け、より多くの皆様にご入会いただき、本学会での活動を通じて、日々発展し続ける情報分野においてご活躍いただきますよう、正会員新規入会者の入会金免除特別キャンペーンを実施いたします。

ぜひ、この機会にご入会いただきますようお願いいたします。また、お近くに興味のある方々がおられましたら、ご紹介いただけましたら幸いです。

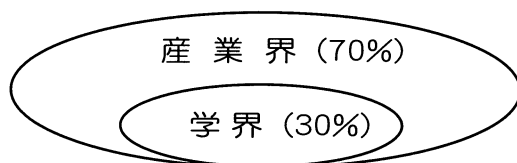
- 正会員新規入会者の入会金 (2,000円) 免除
- 期 間：平成12年度 (2000年4月1日～2001年3月31日)

入会に関する詳しい案内はホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧いただくか、照会先まで資料をご請求ください。

## 入会のおすすめ

ご存知ですか! 情報分野のパイオニアとして活動している学会が  
社団法人 情報処理学会です。

### ● 情報処理学会は . . . . .



の会員で構成されています。

研究者のためだけの学会ではなく、一般の技術者の方々にも大いに役立つ学会であることがお分かりいただけると思います。

### ● 本会の活動のなかでの交流は . . . . .

産業界と学界、他の企業の技術者、他の業種の人々、学界の研究者、学生、海外の学協会など多くの交流の機会が得られ、活動を通じて多種多様の情報を得る事が可能です。

### ● ご入会されますと . . . . .

1. 会誌「情報処理」(月刊)が無料配布されます。
2. 論文誌への投稿、研究会への研究発表・登録(研究報告配布)ができます。
3. 会員優待で全国大会に論文発表、各種行事に参加できます。
4. 本会編纂図書が会員特価で購入できます。

	[会費]	[入会金]
正会員	9,600円	2,000円
学生会員	4,800円	免除
準会員	5,700円	免除
賛助会員	50,000円/1口	

照会先 (社) 情報処理学会 会員担当  
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
E-mail: [mem@ipsj.or.jp](mailto:mem@ipsj.or.jp)  
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

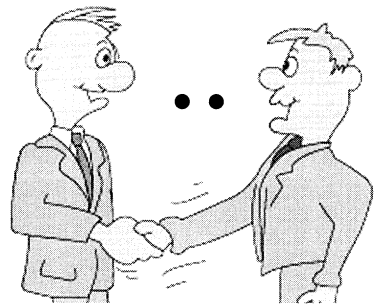
# 入会申込書(正会員・学生会員・準会員)

● 会員種別		<input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> 準会員		申込日: 年 月 日 <input type="checkbox"/> 専門分野コード表 チックは5つまで、 名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
● 氏名(漢字)		卒業予定年月 年 月		大項目-中項目	
● 氏名(カナ)				<input type="checkbox"/> 01基礎理論と基礎技術 <input type="checkbox"/> 01情報数学 <input type="checkbox"/> 02非線形力学 <input type="checkbox"/> 03アルゴリズム理論 <input type="checkbox"/> 04オペレーションズリサーチ <input type="checkbox"/> 05確率・統計 <input type="checkbox"/> 06数値計算 <input type="checkbox"/> 07数値シミュレーション <input type="checkbox"/> 08高性能計算	
● 氏名(0-7字)				<input type="checkbox"/> 02人工知能と認知科学 <input type="checkbox"/> 01知識処理 <input type="checkbox"/> 02人工知能システム <input type="checkbox"/> 03自然言語処理 <input type="checkbox"/> 04生体情報処理 <input type="checkbox"/> 05感性情報処理	
性別		<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		<input type="checkbox"/> 03メディア情報処理 <input type="checkbox"/> 01音声言語情報処理 <input type="checkbox"/> 02画像信号処理 <input type="checkbox"/> 03画像・図形認識 <input type="checkbox"/> 04コンピュータグラフィクス <input type="checkbox"/> 05テキスト処理 <input type="checkbox"/> 06メディア処理装置 <input type="checkbox"/> 07マルチメディア処理	
生年月日		年 月 日		<input type="checkbox"/> 04ソフトウェア <input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02プログラミング言語と仕様記述 <input type="checkbox"/> 03言語処理系 <input type="checkbox"/> 04ツール <input type="checkbox"/> 05ウィンドウシステム <input type="checkbox"/> 06オペレーティングシステム <input type="checkbox"/> 07プログラミング技術	
機関誌等送付先		<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先(個人) <input type="checkbox"/> 勤務先(一括)		<input type="checkbox"/> 05データベース <input type="checkbox"/> 01データベース <input type="checkbox"/> 02情報学基礎	
〒		グループコード		<input type="checkbox"/> 06ソフトウェア工学 <input type="checkbox"/> 01開発技術 <input type="checkbox"/> 02テスト・保守・管理 <input type="checkbox"/> 03ソフトウェアプロセス <input type="checkbox"/> 04開発環境 <input type="checkbox"/> 05ヒューマンファクタ <input type="checkbox"/> 06ソフトウェア品質	
○ 自 住所		〒		<input type="checkbox"/> 07ハードウェア <input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02論理回路 <input type="checkbox"/> 03デバイス <input type="checkbox"/> 04計算機アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 05メモリ/I/Oアーキテクチャ <input type="checkbox"/> 06設計技術と設計自動化	
○ Tel				<input type="checkbox"/> 08並列処理 <input type="checkbox"/> 01並列処理アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 02並列処理ハードウェア <input type="checkbox"/> 03並列処理ソフトウェア <input type="checkbox"/> 04並列処理応用	
○ 宅 Fax				<input type="checkbox"/> 09ネットワーク <input type="checkbox"/> 01通信技術 <input type="checkbox"/> 02ネットワーク管理 <input type="checkbox"/> 03コンピュータネットワーク	
○ E-mail				<input type="checkbox"/> 10システム <input type="checkbox"/> 01システム技術 <input type="checkbox"/> 02グループウェア <input type="checkbox"/> 03インタフェース <input type="checkbox"/> 04対話型システム <input type="checkbox"/> 05オンラインリアルタイムシステム <input type="checkbox"/> 06制御システム <input type="checkbox"/> 07システム評価	
○ 住所		〒		<input type="checkbox"/> 11信頼性と安全性 <input type="checkbox"/> 01信頼性 <input type="checkbox"/> 02機密保護	
○ 勤 Tel		(内線 )		<input type="checkbox"/> 12教育 <input type="checkbox"/> 01教育	
○ 務 Fax				<input type="checkbox"/> 13応用 <input type="checkbox"/> 01企業等への応用 <input type="checkbox"/> 02工学等への応用 <input type="checkbox"/> 03音楽への応用 <input type="checkbox"/> 04人文科学への応用 <input type="checkbox"/> 05障害者補助 <input type="checkbox"/> 06その他への応用	
○ 先 E-mail				<input type="checkbox"/> 14その他 <input type="checkbox"/> 01社会 <input type="checkbox"/> 02その他	
○ 在 名称					
○ 学 事業所名					
校 所属					
職種・役職					
事務局からの案内		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			
関連学会の案内		<input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			
他学会在会		<input type="checkbox"/> 電子情報通信学会 会員No. [在会証明書]添付により入会金免除 <input type="checkbox"/> 電気学会 会員No. [在会証明書]添付により入会金免除 <input type="checkbox"/> 照明学会 会員No. [在会証明書]添付により入会金免除 <input type="checkbox"/> 映像情報メディア学会 会員No. [在会証明書]添付により入会金免除 <input type="checkbox"/> IEEE 会員No. 会員証のコピー添付または会員No.記入により入会金免除 <input type="checkbox"/> その他( ) 会員No. 入会金免除無し		<input type="checkbox"/> 08並列処理 <input type="checkbox"/> 01並列処理アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 02並列処理ハードウェア <input type="checkbox"/> 03並列処理ソフトウェア <input type="checkbox"/> 04並列処理応用	
○ 卒業学校名				卒業年月 年 月	
入会の動機					
機関誌配布		<input type="checkbox"/> 会誌: 年 月号~ <input type="checkbox"/> 論文誌: 年 月号~		<input type="checkbox"/> 10システム <input type="checkbox"/> 01システム技術 <input type="checkbox"/> 02グループウェア <input type="checkbox"/> 03インタフェース <input type="checkbox"/> 04対話型システム <input type="checkbox"/> 05オンラインリアルタイムシステム <input type="checkbox"/> 06制御システム <input type="checkbox"/> 07システム評価	
注 入会時にお支払の会費 論文誌購読費は機関誌配布開始月から充当します。 機関誌の配布月号を明記しない場合は入会承認の翌月号から配布となります。					
送金(予定)日		月 日		入会時費用一覧	
金額内訳		正会員		学生会員	
入会金		¥2,000		入会金 : 免除	
会費		正会費 : ¥9,600		学生会費 : ¥4,800	
論文誌購読費		論文誌購読費(希望購読) : ¥6,930		準会費 : ¥5,700	
合計		¥		論文誌購読費(希望購読) : ¥6,930	
送金方法		<input type="checkbox"/> 郵便振替00150-4-83484 <input type="checkbox"/> 第一勧業銀行虎ノ門支店(普)1013945 <input type="checkbox"/> 東京三菱銀行虎ノ門公務部(普)0000608 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 現金持参		<input type="checkbox"/> 11信頼性と安全性 <input type="checkbox"/> 01信頼性 <input type="checkbox"/> 02機密保護	
* * 入会後の会費等の振込には、「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。				<input type="checkbox"/> 12教育 <input type="checkbox"/> 01教育	
必要書類		<input type="checkbox"/> 請求書 通 <input type="checkbox"/> 納品書 通 <input type="checkbox"/> 見積書 通 <input type="checkbox"/> 郵便振替用紙		<input type="checkbox"/> 13応用 <input type="checkbox"/> 01企業等への応用 <input type="checkbox"/> 02工学等への応用 <input type="checkbox"/> 03音楽への応用 <input type="checkbox"/> 04人文科学への応用 <input type="checkbox"/> 05障害者補助 <input type="checkbox"/> 06その他への応用	
紹介者		正会員No. _____ 氏名 _____		<input type="checkbox"/> 14その他 <input type="checkbox"/> 01社会 <input type="checkbox"/> 02その他	
連絡事項					

[記入要領]

1. □欄は該当するものにチェックしてください。
2. 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
3. ○は名簿掲載選択項目ですので、掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。●は名簿掲載必須項目です。
4. 性別、生年月日、卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。
5. 紹介者がいない場合は空白のままです。

## 会員の広場



今月の会員の広場では、主に7月号と8月号に掲載された記事に対する読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介いたします。

まず、7月号の特集「ここまできた自然言語処理」に対しては、以下のようなご意見をいただきました。

□人工知能については無知なのですが、各記事が各々を参照する形になっていたり、主張が一貫していたので分かりやすかったです。コンピュータが言語を処理するのも大変そうですが、その結果を正しいかどうか判断するのも難しそうだと思います。(匿名希望)

□コーパスを使った自然言語処理の特集は時期的にぴったりでとても良かったと思います。ただ、まだ研究が始まったばかりということもあるでしょうが、執筆者が大学や研究機関の研究者に偏っている点が少し残念に思います。パソコン上での音声認識や機械翻訳のソフトがすでにたくさん売られており、それらの開発者が実際にコーパスをどのように活用しているかという観点からの話もあれば、より良かったと思います。(匿名希望)

7月号のもう一つの特集「西暦2000年問題を振り返って」についても、昨年末にかけてかなり話題になったこともありまして、多くの方からご意見やご感想をお寄せいただきました。

□Y2Kなど重要な問題ものど元すげれば...という態度でなく、何がY2K対策の成功の要因だったかを振り返ることが重要である。本誌の企画はY2K騒動から半年後ということで、まだ関係者の記憶が新しいうちにタイムリーに行われた点、意義深いものであったと思う。(登内敏夫)

□Y2K問題で、いろいろがんばっている人は多かったが、エンドユーザに対して情報の伝達が不十分であったことを改めて反省した。ハードからアプリまですべてのコンポーネントを単一メーカーで提供するならともかく、マルチベンダでお互いにブラックボックスとして組み合わせる今日のシステムの信頼性についての難しさを考える良い機会だった。(松本一志)

□この特集は期待はずれでした。これほど騒がれたにもかかわらず、実際にはシステムの修正が間に合わなかった事例もあつたと聞きますが、なぜシステムの修正漏れが発生したかを冷静に考察するべきです。もちろん、その担当者を責めるのではなく、我々の今後の教訓にするためです。今回の特集に、そのことについて言及がないのは残念です。(佐藤良之)

同じく7月号のインタラクティブ・エッセイ「これでいいのか? 日本のスパコン」についても多くの反響がありました。その一部をご紹介します。

□インタラクティブ・エッセイのスパコンの記事は、ハード屋とソフト屋の立場の違いが鮮明に表れていて大変興味深く読ませていただきました。私も並列計算機を利用してプログラムを組んだことがありますのでどちらの立場もごもっともだと思います。地球シミュレータの話題が挙がっていましたが、外部からの大型プロジェクトだけに頼るのではなくスパコンを使って何ができるのか、どんな貢献ができるのかをアピールすることが必要ではないでしょうか。(松井藤五郎)

□スーパーコンピュータに関しては、その導入をめぐる、日米間で政府間摩擦も起きています。今回のインタラクティブ・エッセイでは、スーパーコンピュータの技術的な側面ばかり強調され、政府調達にかかわる議論がまったくなされていませんでした。1本ぐらい、政府間摩擦に関するエッセイがあってもよかったです。(水野光朗)

7月号のその他の記事に対しては、以下のようなご意見をいただきました。

□「マルチメディアホームコンピューティングの未来」の連載が始まり興味を持って拝読させていただきました。家庭での情報化というとPCを購入して使用する(しかもせいぜいワープロ、WWW閲覧程度)と感じられがちですが、家庭に入るということは機能だけの側面だけでなく多方面に渡っての考慮が必要であるということ、「PCの導入」以外の考えも存在することが興味を引き立てました。今後、2回・3回と連載が続きマルチメディアホームコンピュータについて議論されるということで、PCとどういう点でどのような違いがあり、どれがなぜ家庭での情報化に向いているのか、というご説明を楽しみにしております。(匿名希望)

□解説「認証技術の現在と未来」は、前半は大変興味深くかつ読み応えがあるおもしろい論文ですが、非常に残念ながら、後半はまったく別の論文になってしまっています。編集部としては、このような場合、2つの別の論文として掲載すべきであったと思います。(岡田昌康)

□解説「アドホックネットワーク構築技術」の付録部分が、会誌らしい具体的な内容で楽しめた。実験システムを構築するときの技術は、重要であるにもかかわらずなかなか表に出ない。特にローテクに分類される技術はおおざりにされがちだと思う。その点でも、本記事は新鮮な気持ちで読めた。(小林健一)

□LEDAの解説記事、興味深く読ませていただきました。分かりやすい解説で、アルゴリズムそのものを部品として簡単にプログラム設計ができることを知り、私もちょっと遊んでみようかな、と思いました。(匿名希望)

□情報処理学会誌は特集もさることながらコラム関係がとてもおもしろい。特集になるとかか堅く、筆者の勢いは戻るもののどうしてもつまらなくなりがちなのに対して、二



ムなどの文章になると切り口が鋭く批判はいつでも受けてつとの態度がとても気に入っている。しかし、会誌として内容ももちろん必要である。それゆえ、両極から互いにつかり合うような内容を今後もお願いしたい。(藤田泰則)

次に、8月号の記事に関するご意見・ご感想を紹介いたします。

特集「情報検索システムの力くらべ」の最後にある「単語」は、専門用語が詳しく解説されており、本文理解の役に立った。これからも、こういったコラムをもうけてほしい。(水野光朗)

インタラクティブ・エッセイ「Javaセキュリティ・ホール」の「みる企業責任」に興味深く拝読いたしました。議論の内容も、まったく庶民的で分かりやすかったことも助けとなり、存在する問題点がよく分かりました。今後の情報産業のあり方に1つの課題を投げかけた大変良い議論だったと思います。また、ここで高木氏をはじめ著者の方々が論じたこと、一雑誌記事として終わらせるのではなく、公益法人である情報処理学会から関連機関に働きかけるくらいのことでもよいのではないかと思います。(匿名希望)

インタラクティブ・エッセイ「Javaセキュリティ・ホール」の「みる企業責任」では、非常に興味深い議論が展開されています。ところで、「エディタから」によれば、実名入りの議論を積極的に取り上げるのは、「アンフェア」だそうで、かなり編集されているらしい。しかし、『情報処理』は、情報処理学会の会誌であって、一般的な商業誌ではない。そもそも、会誌における論文なり論説は、原著者の考え方を反映するものであって、決してフェアである必要はない。もし反論があれば、それ投稿すればよいのである。(水野光朗)

「道しるべ」モバイルプロセス計算へのいざないは、研究論文(資料)ならばともかく、2万数千人の会員を対象とする会誌にはふさわしくないように思う。その理由は、このような書き方では、私も含めてモバイルプロセス計算の何たかや知らない者が読んでほとんど何も分からないことになる。4ページの記事の約半分が参考文献やWebサイトの紹介に当てられているが、これは会員一般の啓蒙(啓発?)を目的とする会誌にはふさわしくない。限られたページの70%以

上は「モバイルプロセス計算とは何ぞや」ということについて説明するために割くべきであろう。(米田英一)

「道しるべ」について編集担当からコメントさせていただきます。ご意見ありがとうございます。参考文献やWebサイトなどを多めに記述することは「道しるべ」の趣旨でもあり、著者の方にもそのようにお願いしております。とはいえ、記事の内容が分かりにくかったというご指摘はごもっともです。現在、より一層記事の内容を分かりやすくし、また多くの方に興味を持っていただくよう、テーマ選定の方法も含めた編集方針の再検討を行っております。

また、ほっとタイムに関して以下のようなご意見をいただきましたので、今後の検討課題とさせていただきます。

□7月号で、「HOT TIME (p.815)」と「ほっとタイム (p.843)」がありますが、紛らわしいと思います。また、ほっとタイムに掲載されているコラムにも興味深い記事がありますので、モニタ評価の対象にしていただきたいし、巻末の著者紹介にも掲載していただきたいです。(永吉弘己)

最後に、今後取り上げてほしいテーマとして寄せられたご意見を紹介いたします。

□高度道路交通システム(ITS)に関するさまざまな取り組み(ハード、ソフトの面から)の紹介。(藤田兼一)

□通信会社のグローバル化と標準技術。(匿名希望)

□今後取り上げていただきたいトピックとして「オブジェクト指向とエージェント指向の現在と未来」を挙げておきます。(松井藤五郎)

この他にもたくさんのご意見をいただきましたが、誌面の都合で掲載することができませんでした。WWW版会員の広場「読者からの声」<URL:http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha/dokusha.html>では、今回掲載できなかったご意見を紹介していますので、そちらもご参照ください。

今後も、より良い会誌を作るため、各記事および会誌全般に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

【本欄担当 白井清昭、前田敦司/書評・ニュース分野】

ご意見をお寄せください!!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

前号に引き続き、今月号でも「道しるべ」に取り上げて欲しいテーマ)についてのご意見をお待ちしております。

掲載させていただいた方には薄謝を進呈いたします。掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

応募先 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F  
情報処理学会 会誌担当 E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534  
http://www.ipsj.or.jp/members/Magazine/Jpn/4110/questionnaire.html





IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
The Second International Working Conference on Active Networks (IWAN 2000)	東京	10月16日 (月) ～18日 (水)		4月14日 (金)	41-2 会27p	事
東海支部「講演会：ソフトサイエンスシリーズ第17回公開講座」	名古屋市科学館	10月17日 (火)			41-10 会21p	海
第37回グループウェア研究会	NTT横須賀	10月19日 (木)	当日のみ		41-9 会5p	研
東海支部「女性セミナー：女性のための電気教室」	松下電工	10月19日 (木)	10月2日 (月) 必着		41-9 会11p	海
創立40周年記念式典	虎ノ門パストラル	10月20日 (金)			41-9 会4p	総
中国支部「講演会」	山口大	10月20日 (金)			41-9 会11p	中
中国支部「平成12年度電気・情報関連学会中国支部連合大会」	岡山大	10月21日 (土)		8月4日 (金) 必着	41-9 会11p	中
北海道支部「平成12年度電気関係学会北海道支部連合大会」	北大	10月21日 (土) ～22日 (日)		8月25日 (金) 17時必着	41-7 会17p	北
第4回ゲーム情報学研究会	キャリアック (浜松)	10月26日 (木)	当日のみ		41-9 会5p	研
第75回情報システムと社会環境研究会	情報処理学会	10月26日 (木)	当日のみ		41-9 会6p	研
コンピュータセキュリティシンポジウム CSS2000	学術総合センター	10月26日 (木) ～27日 (金)		8月11日 (金)	41-10 会11p	研
第48回人文科学とコンピュータ研究会	新潟大	10月27日 (金)	当日のみ		41-9 会6p	研
第33回音声言語情報処理研究会	情報処理学会	10月27日 (金)	当日のみ		41-9 会6p	研
中国支部「講習会：電力システムの知識工学実用化技術」	中国電力	10月27日 (金)	定員になり次第		41-10 会21p	中
東北支部「東北大学電気・情報系21世紀企画プレゼンポジウム」	東北大	10月28日 (土)		9月22日 (金) 17時必着	41-8 会22p	東
東海支部「講演会」	名工大	10月28日 (土)			41-10 会21p	海
産業フォーラム/オンライン・プライバシー保護 (第1回)	情報処理学会	11月 1日 (水)	定員になり次第		41-9 会8p	会
第100回マルチメディア通信と分散処理研究会	NTT武蔵野	11月 9日 (木) ～10日 (金)	当日のみ		41-10 会5p	研
第75回アルゴリズム研究会	山口大	11月10日 (金)	当日のみ		41-10 会6p	研
中国支部「講習会：eコマースを担う要素技術と応用」	中国電力	11月10日 (金)	定員になり次第		41-10 会21p	中
中国支部「講習会」	広島市立大	11月20日 (月)			41-10 会21p	中
コンピュータシステムシンポジウム	東京国際展示場	11月15日 (水) ～16日 (木)		9月15日 (金)	41-8 会18p	研
第129回ソフトウェア工学研究会	同志社大	11月16日 (木) ～17日 (金)	当日のみ		41-10 会6p	研
第31回プログラミング研究会	はこだて未来大	11月16日 (木) ～18日 (土)	当日のみ		41-10 会6p	研
第26回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	11月17日 (金)	当日のみ		41-10 会7p	研
第124回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	阪大	11月21日 (火)	当日のみ		41-10 会7p	研
第140回自然言語処理研究会	奈良先端大	11月21日 (火) ～22日 (水)	当日のみ		41-10 会7p	研
第32回数理モデル化と問題解決研究会	日本原子力研	11月21日 (火) ～22日 (水)	当日のみ		41-10 会8p	研
関西支部「平成12年度電気関係学会関西支部連合大会」	大阪電通大	11月25日 (土) ～26日 (日)			41-10 会22p	西
北陸支部「講演会」	富山商船高専	11月28日 (火)			41-10 会22p	陸
第98回システムLSI設計技術研究会	ラフォーレ 琵琶湖	11月29日 (水) ～30日 (木)	当日のみ		41-10 会8p	研
第132回計算機アーキテクチャ研究会	ラフォーレ 琵琶湖	11月29日 (水) ～30日 (木)	当日のみ		41-10 会8p	研
第15回モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会	山形市中央 公民館	11月30日 (木) ～12月 1日 (金)	当日のみ		41-10 会9p	研
第3回高度交通システム研究会	山形市中央 公民館	11月30日 (木) ～12月 1日 (金)	当日のみ		41-10 会9p	研
第20回分散システム/インターネット運用技術研究会	和歌山大	12月 1日 (金)	当日のみ		41-10 会9p	研
IPSJ DBS/ACM SIGMOD Japan Chapter/ JSPS AMCP合同シンポジウム	フジテレビ	12月 6日 (水) ～ 8日 (金)		10月 6日 (金) 必着	41-9 会9p	研
マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	信州昼神温泉	12月 6日 (水) ～ 8日 (金)	定員になり次第		41-10 会12p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
北陸支部「講演会」	富山県立大	12月13日(水)			41-10 会22p	陸
MPSシンポジウム	工業技術院 (予定)	12月14日(木) ～15日(金)		9月22日(金)	41-8 会18p	研
人文科学とコンピュータシンポジウム 『デジタルアーカイブ』	立命館大	12月15日(金) ～16日(土)		9月14日(木)	41-7 会11p	研
連続セミナー2000 第4回 「インターネットと教育」	工学院大	12月18日(月)	定員になり次第		41-10 会14p	事
産業フォーラム/情報家電(第2回)	情報処理学会	12月19日(火)	定員になり次第		41-9 会8p	会
The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)	San Diego, California (USA)	平成13年 1月8日(月) ～12日(金)		5月1日(月)	41-3 会8p	事
第42回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル小涌園	1月9日(火) ～11日(木)	11月24日(金)	8月25日(金)	41-10 会14p	事
2001年情報学シンポジウム	日本学会会議講堂	1月18日(木) ～19日(金)		9月15日(金) 必着	41-7 会12p	研
ウインターワークショップ・イン・金沢	辰口温泉	1月18日(木) ～19日(金)		11月17日(金)	41-9 会9p	研
連続セミナー2000 第5回 「インターネットと生活」	工学院大	1月26日(金)	定員になり次第		41-6 会19p	事
情報システムと社会環境シンポジウム	国学院大	1月26日(金)		9月14日(木) 必着	41-7 会13p	研
分散システム/インターネット運用技術 シンポジウム2001	名大	2月1日(木) ～2日(金)		10月20日(金) 必着	41-9 会10	研
連続セミナー2000 第6回 「インターネットと使い易さ」	工学院大	2月13日(火)	定員になり次第		41-6 会19p	事
インタラクション2001	早大	3月5日(月) ～6日(火)		10月13日(金)	41-7 会14p	研
情報処理学会第62回全国大会 (学会創立40周年記念全国大会)	慶大	3月13日(火) ～15日(木)		11月24日(金)	41-10 会15p	事
The Fifth International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS 2001)	Dallas, Texas (USA)	3月26日(月) ～28日(水)		8月15日(火)	41-6 会23p	事
並列処理シンポジウム JSPP2001	京都市サーチパーク 西地区	6月5日(火) ～8日(金)		12月14日(木)	41-10 会20p	研
INTERACT2001	早大国際会議場	7月9日(月) ～13日(金)		11月20日(月)	41-5 会12p	事
The 2002 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2002)	奈良	平成14年 1月28日(月) ～2月1日(金)		平成13年 3月15日(木)	41-8 会20p	事
論文誌投稿締切				発行予定月	論文/応募締切	掲載頁 担当
論文誌特集号「次世代インタラクションのための情報技術」				平成13年 6月	10月31日(火)	41-5 会14p 論
論文誌特集号「ITSとモバイルコンピューティング」				平成13年 7月	11月30日(木)	41-7 会13p 論
論文誌特集号「21世紀のコンピュータセキュリティ技術」				平成13年 8月	11月30日(木)	41-6 会24p 論
論文誌特集号「システムソフトウェアの新しい潮流」				平成13年 6月	12月15日(金)	41-8 会19p 論
論文誌特集号「21世紀のグループウェア」				平成13年11月	平成13年 3月15日(木)	41-10 会19p 論
その他				応募締切	掲載頁	担当
情報処理学会フェロー候補者推薦募集				11月10日(金) 必着	41-10 会4p	総
平成13年度代表会員候補者の募集				11月15日(水) 必着	41-10 会4p	総
坂井記念特別賞候補者の推薦募集				平成13年 1月12日(金) 必着	41-10 会5p	総

記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。  
 記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。  
 記3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 調査研究, 事: 事業, 国: 国際, 論: 論文誌, 編: 会誌, 総: 総務, 経: 経理, 会: 会員,  
 規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。  
 各行事についての問合せ等は担当までお願いします。  
 記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

前川 徹 (正会員)

1955年生。名古屋工業大学情報工学科卒業。1978年通産省入省。機械情報産業局情報政策企画室長、JETRO New Yorkセンター産業用電子機器部長、情報処理振興事業協会セキュリティセンター所長を経て、1999年早稲田大学国際情報通信研究センター客員教授。

牧村 信之 (正会員)

1971年東京工業大学理学部化学科卒業。1973年同大学院修士課程修了。同年富士通(株)入社。1992年(株)富士通研究所。2000年より(財)日本情報処理開発協会先端情報技術研究所。プログラミング言語、開発支援環境、AI、ヒューマンインタフェースなどの企画、研究、開発に従事。人工知能学会会員。

増永 良文 (正会員)

1970年東北大学大学院工学研究科電気及通信工学専攻博士課程修了。工学博士。現在、お茶の水女子大学理学部情報科学科教授。専門はデータベース。本会データベースシステム研究会主査、ACM SIGMOD日本支部長、本

会監事などを歴任。著書「リレーショナルデータベースの基礎—データモデル編—」(オーム社)、「リレーショナルデータベース入門」(サイエンス社)など。電子情報通信学会、ACM、IEEE、IEEE CS各会員。

馬淵 英之

1996年甲南大学大学院原子核物理学修士課程修了。同年三菱電機マイコン機器ソフトウェア入社。以来、重粒子線治療システムのアプリケーションソフトウェアの開発に従事。オブジェクト指向全般に興味を持つ。

森島 直人

奈良先端科学技術大学院大学博士後期課程在学。1996年京都大学工学部、1998年奈良先端科学技術大学院大学博士前期課程修了。通信会社の法人営業本部における社内ネットワーク構築運用等の業務を経て、1999年より現所属。広域経路制御、トラフィック優先制御などの研究を行う。また、WIDEプロジェクトのメンバとして広域ネットワークの研究に従事し、特に西日本におけるネットワークの管

理運用を行っている。

山本 克

1991年岡山理科大学理学部応用数学科卒業。同年(株)日立製作所入社。情報システム事業部勤務。以来、新分野でのサービス事業、コンテンツビジネスの推進に従事。最近はBSデジタル放送のデータ放送システムの開発に注力。現在、BSデジタル放送会社である(株)デジタル・キャスト・インターナショナルへ出向中。E-mail:k\_yamamoto@digicas.co.jp

吉岡 顕 (正会員)

1964年生。1986年東京大学工学部原子力工学科卒業。1991年同大学院博士課程修了。工学博士。東京大学大型計算機センター助手、同教育用計算機センター助教授を経て、1999年より同情報基盤センター助教授。数値解析の並列・分散処理から、今では大規模分散システムに興味を持つ。



## おぼいすらん



夏の終わりに「森のピアガーデン(神宮外苑)」に行く計画を立てた。会場は広いらしい。友達も私も行ったことがない。遅れて参加する私に、友達が「ケータイで(どの席にいるか)知らせるから」と言った。

「ケータイ持ってない」。「えっ? ピッチは?」。「それもないよ」。「えー、まだ持ってないの?」と驚かれた。

ついこのあいだまで「あんなの必要ないよね」って同意を求めていたじゃない。それなのに何それ? その変わり身は? とムツとした。と同時に少し気になった。集まるメンバで、ケータイもピッチも持っていないのは私だけだった。

「考えても持つ理由がないもの」と私。「持つと便利だよ」。「持つとその考え変わるから」。「持てば」と単純に勧める友達。

貧乏性なのか、理由がないと購入できない。遅れた電車の中から「遅れます」と会社に電話をかけている人を見たとき「いいな」と思ったことはある。他は....、思いつかない。でも、みんなが持っているってことは、本当に便利なのかも? とちょっと思った。それじゃ、ピアガーデンの日に席を探すのに困ったら買うことにしようかなと、少しだけケータイを持つ気になった。

当日、お店の人が席まで案内をしてくれた。困らなかった。やっぱり、今もケータイは持っていない。

(東福寺明美/情報規格調査会)



## おぼいすらん



最近の私の関心事といえば「ダンス」と「インターネット」である。今年の6月には熊川哲也(バレエダンサー)を見に行き、10月にはホアキン・コルテス(フラメンコダンサー)、11月にはブロードウェイ・ミュージカル・カンパニー(ミュージカル)を見に行く予定である。10月13日のホアキン・コルテスは、2年前に見逃してしまっているだけに今から楽しみで仕方がない。(おそらくこの会誌が発刊されるころには、全身鳥肌が立つほど「感動」の渦に包まれていることだろう。)これらのチケットはすべてインターネットで予約購入した。少し前まではつながらない電話をイライラしながら半日以上もダイヤルし続けたり、学生のころには整理券を入手するため、深夜から事務所の前に並びその後プレイガイドで購入していた。

今はHP上で行きたい公演を検索し、予約が完了すればチケットは宅配便で届けてくれる。また、その情報もメールマガジンなる代物で随時チェックできるのである。便利な世の中になったものだ。しかし、予約が殺到したアーティストに関しては抽選となり、この点においては運にまかせる他ないのだが....

私自身、某スポーツクラブでStreet DanceとJAZZのレッスンを受けているが、およそ人様にはお見せできない「自己満足の

世界」に限られている。が、それでも最近は趣味の欄に加えることができるぐらいに「夢中」である。つい先日「RAVE2001」というダンサーの登竜門的な番組の公開録画に社内の友人と行ってきたが、間近で見るダンサーたちの迫力と体のキレ、しかもそれにかける真摯なまでの情熱に圧倒されて(不思議と皆、舞台ではかなり大きく見える)もう少し体重落として筋力もつけないとダメだなあーと、あらためて実感させられた。

収録後、Clubで打ち上げがあるから観覧者の方もどうぞとインフォメーションがあったので、興奮冷めやらない私はいてもたってもいられない調子で友人を誘ってみたが、答えは「NO」。残念無念....。そういえば、スポーツクラブでも「踊りに行こう」という知り合いはいない。「うーん、どうして?」なかば肩を落とし気味に自宅へ戻り、早速関連HPにアクセスしてみると「一緒に踊り行きましょう!」というようなメッセージがたくさんあるではないか!

今度は「ダンス仲間」をインターネットで見つけようと、目下計画を企んでいる今日この頃である。

(高田聡恵/図書担当)

# ご意見をお寄せください!

【11月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)  
http://www.ipsj.or.jp/members/Magazine/Jpn/4110/questionnaire.html  
Fax(03)5484-3534 E-mail:editj@ipsj.or.jp (E-mailで送信される場合は、7-1-aのようにコードでお答えください)

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. ( )
3. E-mail:
4. 性別: (a) 男性 (b) 女性 ..... 4-
5. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ ..... 5-
6. あなたのご意見は「会員の広場」に掲載される場合があります。その場合:  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 ..... 6-
7. 今月号 (2000年10月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
(あなたの評価は年度のBest Author賞選定の際の資料となります。評価は以下の5段階評価をお願いします。)  
[ a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

[ページ]

- 【特集】 聖徳太子をつくる技術
- 1090 独立成分解析: 多変量データの新しい分解法 ..... 7-1-  
1096 音環境理解: 混合音の認識をめざして ..... 7-2-
- 【特集】 3Dデジタルコンテンツのためのモデリング技術
- 1103 3次元メッシュモデルの生成と表現 ..... 7-3-  
1108 表示・編集・圧縮のための多重解像度表現技術 ..... 7-4-  
1113 インターネット流通を目指した圧縮と透かしの技術 ..... 7-5-
- 【解説】
- 1122 1,600台のインターネット端末をつないだ ..... 7-6-  
1134 連載解説: 次世代インターネット研究開発の最前線 4. Bandwidth Broker Systemの開発と運用実験 ..... 7-7-  
1142 インターネットビジネスをモデルから理解する ..... 7-8-  
1168 国の資金によるIT研究開発における仕組みや法制度に起因する研究環境の日米格差について ..... 7-9-
- 【事例】
- 1154 粒子線治療装置におけるソフトウェア開発での共通フレームワーク開発 ..... 7-10-
- 【道しるべ】
- 1161 暗号と電子社会 ..... 7-11-
- 【連載】
- 1128 放送と情報処理: テータ放送サービス2 (独立型データ放送と双方向サービス) ..... 7-12-  
1182 インタラクティブ・エッセイ: ポストPC時代におけるOS研究開発の重要性 ..... 7-13-
- 【コラム】
- 1119 情報技術の新時代に向けて: ジェンダーフリーなIT社会の実現に向けて ..... 7-14-  
1140 乱世のアクセス・ネットワーク: IMT-2000が実現するモバイル・マルチメディア・インターネット ..... 7-15-  
1150 米国インターネット事情: インフォメディアリ (情報仲介業) ..... 7-16-  
1152 本当のインターネットをめざして: インターネットのレイヤリング ..... 7-17-  
1164 SEの知恵袋: 何でもできるシステムインテグレータ (SI) ..... 7-18-  
1166 現代・コンピュータ市場: パワーユーザのためのLinux ..... 7-19-
8. 特に興味を持ってお読みになった記事・著者への質問・取り上げて欲しいテーマなどをお書きください。  
また「道しるべ」に取り上げてほしいテーマを募集しています。

特集「聖徳太子をつくる技術」では、同時にたくさんの人が話した声をコンピュータで認識するという課題を取り上げた。大きな進歩を遂げた現在の音声認識技術の枠組みを一步離れて、未来型のマンマシンコミュニケーションの夢を描いてみたいというのがこの企画の意図である。関連する研究は数多くあるが、今回は、夢を描く

ための座標軸となり得るように、あえて2つのアプローチに的を絞った。幸い著者の先生方には、企画の意図を汲んでいただき、幅広い読者をカバーしながらも読み応えのある記事を寄せていただくことができた。サポートしてくださった事務局の皆様に感謝します。

(柏野邦夫/本特集エディタ)

家庭用ゲームや、映画の特撮シーンなど、CG技術を応用した映像は、至るところで見受けられるようになりました。一方で、インターネットによるマルチメディア情報の共有および送受信は、生活の一部になっております。

このような状況において、今後重要になると予想されるのが、インターネット環境における3次元モデルの取扱い法です。すでに、電子商取引における3次元モデルのプラットフォームとして、WEB3Dが注目を浴びております。今後は、従来の2次元画像や映像主体のコ

ンテンツから、3次元モデルによるインタラクティブなコンテンツが主流になることでしょう。

今回の特集では、インターネットにおける3次元モデルの取り扱いを焦点に、そもそも3次元モデルとはどのようなものか、リアルタイムでスムーズにモデルを表示する手法、モデルを圧縮して転送する方法、モデルの著作権保護のために電子透かしを入れる方法など、キーになる技術を解説していただきました。

(宮田一乗/本特集エディタ)

### 次号(11月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」使いやすくなった自然言語処理のフリーソフトー知っておきたいツールの中身ー

自然言語処理関連ツールあれこれ/態素解析システム「茶釜」/結構やるな、KNP/Namazuru/Muleを捨てて、Emacsを使おう/英語構文解析システム「Apple Pie Parser」

#### 情報処理最前線

全文検索機能を適用したインターネット時代の個人用情報管理ソフト ..... 阿倍史郎

#### 解説

電話の相手はコンピュータ?ー電話系音声認識とその応用ー ..... 石川 泰 他

Bluetoothが拓くパーソナルネットワークの世界と、Bluetoothの可能性 ..... 高島由彰

次世代インターネット研究開発の最前線 5. 中継システム (WEB Casting, DV Multicasting) ..... 中村 豊

情報デザイナー情報に形を与えること ..... 須永剛司 他

#### 道しるべ

WWWサーチエンジンの作り方 ..... 原田昌紀

#### 連載 インタラクティブ・エッセイ/放送と情報処理

コラム SEの知恵袋/現代・コンピュータ市場/情報技術の新時代に向けて/米国インターネット事情/

本当のインターネットをめざして/乱世のアクセス・ネットワーク

#### ◆ 広告料金表

掲載場所	色	スペース	料金(円)
表紙2	4	1	330,000
表紙3	4	1	275,000
表紙4	4	1	385,000
表2対向	4	1	300,000
前付	4	1	275,000
前付	2	1	165,000
前付	1	1	135,000
前付	1	1/2	80,000
前付最終	1	1	148,000
目次前	1	1	148,000
差込み (A判70.5kg未満)		1丁	275,000
差込み (A判70.5kg~86.5kg)		1丁	350,000

#### ◆ 体 裁

判 型	A4判
発行部数	30,000部
発行日	毎月15日
印刷方法	オフセット

#### ◆ 広告原稿

申込締切日	前月10日
原稿締切日	前月20日
原稿寸法	1P 天地260mm×左右180mm
	1/2P 天地125mm×左右180mm
原稿形態	ポジフィルム

\*上記料金には、消費税は含まれておりません。断切広告は上記料金の10%増です。

\*広告は、コート紙を使用して印刷いたします。

\*表紙4のサイズは、天地260mm×左右180mmです。